

くすりのしおり

外用剤

2020年07月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ポビドンヨードガーグル液 7%「イワキ」

主成分：ポビドンヨード(Povidone-Iodine)

剤形：赤褐色の液剤、(キャップ) 赤色

シート記載：



この薬の作用と効果について

含有するヨウ素が細菌や真菌やウイルス表面のタンパク質を破壊し、殺菌作用を示します。

通常、咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防や口腔内の消毒に使います。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。甲状腺機能に異常がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、使用時ごとに1回分2~4mLを60mLの水で薄め（約15~30倍）、希釈後は早めに、1日数回うがいをします。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・うがいの目的以外には使用しないでください。口や眼の中に入らないようにしてください。誤って眼に入ったら水で洗い流してください。口や眼の中にはいり、おかしい感じがあれば、医師の診察を受けてください。
- ・うがいした後30分ほどは、口を水でゆすがないでください。飲食はしないでください。
- ・抜歯後などの口腔創傷の場合、抜歯直後などの傷がふさがりきらない時期には激しいうがいをしないでください。
- ・使い忘れた場合は、気がついた時にうがいをしてください。2回分を一度に使ってはいけません。
- ・誤って多く使った場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で使うのを止めないでください。

生活上の注意

- ・銀を含有する歯の補綴物などが変色することがあります。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、口腔や咽頭の刺激感、吐き気、口腔粘膜びらん、口中のあれ、不快感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、浮腫、潮紅、じん麻疹など [ショック、アナフィラキシー症状]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。